

本号の主な内容

- 2 面 【学会の目・眼・芽】 第 2 回 鳥田正文氏
「植栽基盤診断士補研修会」6 月から開催
造園 CPD 会員募集（前期）スタート
2、3 面 公園施設長寿命化計画について 望月一彦氏
4 面 【随想】 造園建設産業の“ゆくえ” 小泉直介氏
【緑滴】 岡田茂樹 【事務局の動き】



記念植樹をされる両殿下④
会場を巡られる両殿下⑤

秋篠宮殿下・同妃殿下をお迎えし 「全国都市緑化祭」を岡山で開催

平成 21 年度全国都市緑化祭は 4 月 8 日、桜満開の新政令指定都市岡山市に秋篠宮殿下、同妃殿下をお迎えし、開催中の第 26 回全国都市緑化おかやまフェア（3 月 20 日～5 月 24 日開催）メイン会場で開かれました。花と緑のテーマ館で開催された式典には県内外から関係者約 500 人が集まりました。

式典では、高谷岡山市長が「この緑化祭を契機に、

岡山市民とともに都市緑化を推進します」と挨拶。

秋篠宮殿下から「花とみどりは暮らしにゆとりと安らぎを与え、ともに、ヒートアイランド現象の緩和、気候を和らげる効果があることを認識し、自然と人間が共存した街づくりを進め



るために 100 年後の生物多様性から見た国土の将来像としての「グランドデザイン」を示し、さらに 660 の「具体的行動計画」と 34 の「数値目標」を定めている。

取り組みの紹介にとどまっていた。「新・生物多様性国家戦略」（2002）は、現状の整理を行い、3 つの危機、5 つの理念、7 つの主要テーマとして具体的な施策を提示した。しかし、まだ各省の施策が並列的であり、また戦略そのものの内容が堅く国民にアピールできていないという課題が残った。

樹 林

40 年前には 30 億だった世界の人口は、現在、67 億人に達している。年間に 1 億 4 千万人が生まれ、6 千万人が亡くなるから、毎年 8 千万人増加、1 日 20 万人、毎分 140 人の割合で急増している。地球の資源は有限であり、「食糧問題」「エネルギー問題」そして「環境問題」は人類にとっての今世紀の最大課題となっている。

また、新しい世紀に入ったにもかかわらず、東欧、中東などをはじめ、各地で民族、宗教、南北格差などによる紛争が収まる気配をみせず、世界平和とはほど遠い状況にある。

そして、アメリカ国内で発生した経済不況は瞬時に全世界に広がり、現実社会から乖離したバーチャル金融空間での過熱し過ぎたマネーゲームが与える影響の恐ろしさを目の当たりに示した。

さらには、メキシコ起源の新型インフルエンザも瞬時に広く世界に蔓延する心配で、ヒト、モノ、情報の広域かつ超高速な往来は地球環境を空間的にかつてはならないほどに狭めてしまった。

一方で我が国の人口は、2005 年から減少傾向に入り、本格的な少子高齢化社会に突入した。

さて、限られた地球資源環境と国境を超えた激しい社会構造変化のもとで我々はどうのように生きていけばよいのであろうか。

いのちは支えあう （生物多様性国家戦略）

兵庫県立淡路景観園芸学校校長、東京農業大学教授

熊谷 洋一

生物多様性国家戦略の経緯

1992 年のリオ地球サミットで生物多様性条約が採択され、その目的は「生物多様性の保全と持続可能な利用」であった。翌年に同条約の締約国となった我が国は、すでに 3 回の国家戦略を策定している。最初の「生物多様性国家戦略」（1995）は、新しい生物多様性のキーワードのもとに各省の

「生物多様性国家戦略」が、2007 年に策定された。この間、生物多様性をめぐる社会的変化は著しく「自然再生法」（2002）「カルタヘナ法」（2003）「景観法」（2004）「外来生物法」（2004）「国土形成計画法」（2005）が制定され、自然公園法、鳥獣保護法、文化財保護法も改正された。

このような関心の高まりを背景に第 3 次国家戦略は、より目標を明確にする

閉会後は、隣接する自然の恵みガーデンで、都市緑化宣言をした小学生たちと、殿下が岡山市の木（クログネモチ）、妃殿下が岡山県の花（ハナモモ）を記念植樹されました。

続いて両殿下は、数十万本の花が咲き誇るフェア会場内を時間をかけて巡られ、コンテスト最優秀賞の作品『記憶の結び目』や金賞を受賞した岡山県造園建設業協会・日造協岡山県支部の作品『備前岡山くらしの風景』をはじめ、岡山県支部会員の作品展の作品や県内外からの作品を全て見

多くの市民が来場

会場での両殿下は、足を止めては熱心に質問をされ、声を掛けられては笑顔で応えられ、「晴れの国岡山」でのこのひと時の場面を見ようと何千人もの市民



会場の様子

が朝から来場し、両殿下の行く先々には多くの人が集まりました。当日は私たちが岡山県支部も 3 月 20 日から岡山市公園協会と協力し「花緑の相談所」に相談員を常駐させ、5 月 7 日には『花とみどりの講演会』を企画し、主催者として参加しています。花や木々とのこれからのかかわりあい等、出来るだけわかりやすく推進・啓蒙していくものです。

岡山フェア盛況

開催中の第 26 回全国都市緑化おかやまフェアは「おかやま花だより 2009 未来へ」をテーマに開催しています。

4 月に入り、当初の予想をかなり上回る来場者。入場料を低額に設定したのが功を奏してか、リピーターの方が大変多いとのこと。

4 月中旬と 5 月上旬には 2 回の草花の植替えもあり、来場者の目も楽しませ

現在、国会で「自然公園法の改正が審議されており、改正されれば、自然公園の目的に「生物の多様性の確保に寄与すること」が追加明記される。そして 2010 年には、名古屋において生物多様性締結国会議（COP10）が開催される。

2008 年 6 月に（社）日本造園建設業協会が「COP10 支援特別委員会」を立ち上げたことはまさに機を得た識見と評価したい。

日本最古の造庭書「作庭記」以来、自然に従った造園により我が国の「生物多様性の保全と持続的利用」に貢献してきた造園家に寄せられた 21 世紀の期待は極めて大きいのではないかと

当協会から佐々木氏、村瀬氏

09 年 春の 褒章・叙勲

平成 21 年春の褒章・叙勲受章者が発表され、日造協から、黄綬褒章を佐々木吉和氏（66）むつみ造園土木（株）代表取締役（秋田市）、旭日双光章を村瀬榮一氏（70）（株）村瀬造園社長（石川県）が受章した。

岡山県支部事業委員
小林和義（株）武田園

お知らせ

平成 21 年度 通常総会 講演会・懇談会

6 月 22 日（月）
15:00 ～
ルポール麹町

～～～～～～～
多数の会員の皆様のご参加をお待ちしています

学会の目・眼・芽

第2回

世界遺産、土木遺産、建築遺産等は既に「ご承知かと思いますが、「造園（ランドスケープ）遺産」という言葉を耳にした機会があるでしょうか？業務を含む日常体験において、存続が危ぶまれる優れた風景や造園作品、その関連図書、図面類の存在について見聞きされた経験はありませんか？

最初から唐突な問いかけですが、ご承知の通り、造園分野は、掛け替えない自然や歴史文化、美しさやレクリエーション空間の持続的保全や創造など、その対象領域は幅広く存在しています。これらの造園遺産は、国や地域固有の自然や歴史文化等に係る重要な情報であり、また、それらの空間における象徴的な存在としてアイデンティティを高める重要な資源・施設となっています。この社会・国民的財産ともいえる貴重な造園遺産ですが、先達の様々な努力により保全施策や事業等が展開された一方で、開発圧等の外圧によって大きな影響を受け、学会としても必要に応じて提言書の発表等を行ってきました。しかしながら、今後ともその滅失や改変の恐れがあること、また、改修時・再整備時における重要性に関する評価の視点や基準の不在や造園遺産を保存・活用する計画設計・維持管理手法の未整備等に係る課題が存在することも事実です。

このような背景のもと、(社)日本造園学会では、全国に所在する「造園遺産」の把握と公表に関する事業に着手することが平成20年度第5回理事会（平成21年4月18日）において決定されました。その経緯について若干触れますと、過年度より本学会ランドスケープ遺産研究委員会において、この造園遺産が議論され、その一部は、平成19年2月に「近代ランドスケープ遺産の保全に関する提言」（ランドスケープ研究、74、pp.281-286）としてまとめられています。また、この動きと関連し、関東支部においては、平成18年度から「造園遺産インベントリー（目録）づくり」の活動を開始し、支部独自の基準「原則として近代（幕末・東京オリピック前後まで）」に造成され、現存するもの（危機的なものを含む）、法令により保護されていないもの（文化財指定・登録されていないものなど）等を対象に24件（平成19・20年）を造園遺産として選定しています。さらに、平成19・20年度の支部長会議において、関東支部からの活動報告や全国展開への提案がなされるなどの経緯をもつて、今日に至っています。

ランドスケープ

「造園遺産」に係る取り組み

今後、本事業にあたっては、既往の様々な検討課題が存在しますが、「二宮尊徳の「むかしまく木の実、大木となりけり、今まく木の実、のちの大木ぞ」の格言のごとく、未発見の造園遺産の発掘と価値評価や記録としての育成・継承、価値の社会的啓発、地域遺産としての活用、それらを通じた造園職能の社会的アピール等を目標に、先達の努力への敬意とともに触れ合える喜びの感受や継承への責任の醸成等、引いては地球的規模での持続可能な発展に貢献するものとして極めて重要であるとの認識に立脚し、積極的な推進を図る所存であります。その際には、造園関係機関や関係者の皆様、さらには地域社会や市民等からの絶大なるご支援・ご協力が不可欠であるものと考えます。

本事業に関連し、直近では平成21年度全国大会（5月23日（土）・25日（月）、明治大学駿河台校舎）の分科会（25日・同校舎アカデミーコモン、詳細については、学会ホームページをご参照ください）において、関東、中部両支部の企画により、「造園遺産インベントリーづくり」方向を考える「地域活動から全国展開に向けて」というテーマのもと、全国展開に向けて造園遺産インベントリーの方角性や行動宣言等についての議論が予定されています。

今後、さらなる事業の展開方法や具体的な内容等の検討が行われ、平成27年に迎える本学会創立90周年を一応の目途として、様々な活動が全国的に展開されていくものと推察されます。

(社)日本造園建設業協会会員の皆様におかれましては、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

島田 正文
(社)日本造園学会副会長 日本大学教授

ストック型 安全で安心して利用できる公園づくり

「公園施設長寿命化計画」の策定を推進

国土交通省都市・地域整備局公園緑地・景観課課長補佐 望月 一彦

1. はじめに

我が国の社会資本は、戦後の高度経済成長とともに着実に整備され、一定のストックを形成するに至っているが、今後はこうしたストックのうち高齢化したもの割合が急速に増加するという課題に直面する。

また一方では、国及び地方公共団体における財政状況の好転が見込めない中で、ライフサイクルコストの削減を図る観点から、高

お知らせ「植栽基盤診断士補研修会」開催試験に先駆け8会場で実施

「植栽基盤診断士」は植物の生育環境を整えるスペシャリストとして日造協が認定する資格です。土壌・植物・植栽技術に関する幅広い知識を有し、土壌調査や診断で得られるデータをもとに適切な提案を行う技術者として、すでに全国で666名が活躍しています。

造園CPD会員募集（前期）スタート

申込締切 5月29日（金）まで

造園技術者の能力向上と客観的評価の指標となる「造園CPD（継続教育）制度」の会員募集がスタートしました。

入会方法には下表の3種類があり、会社の団体所属や個人によって入会手続きや年会費が異なるのでお問い合わせください。

1. これから日造協を通してCPDに入会を希望される場合

2. すでに日造協を通してCPDに入会している場合

日造協ホームページにある「入会案内」をご覧ください。

日造協ホームページにある「入会案内」をご覧ください。

「環境緑化樹木識別検定」認定試験7月に実施

「植栽基盤診断士補研修会」開催会場		
会場	日程	場所
東北	6月29日～30日	「茂庭荘」（仙台市）
関東・甲信	7月1日～2日	「埼玉建産連会館」（さいたま市）
中部	6月25日～26日	「グリーンステップス」（名古屋市）
近畿	6月中旬～下旬	大阪市内
中国	6月26日～27日	「中央勤労青少年ホーム（ユートピア中央）」（広島市）
九州	6月17日～18日	「朝久留米地域地場産業振興センター」（久留米市）
沖縄	6月13日～14日	「沖縄沖縄県造園建設業協会内」（中頭郡西原町）

※四国は検討中（開催が決まり次第、ホームページに掲載します）

（社）日本植木協会は、樹木に関する知識の基礎を広めようと「環境緑化樹木識別検定」を実施しており、第3回検定に先立つ講習会を6月20日、13時から東京・千代田区の弘済会館で開催する（費用9千円）。なお、検定は7月4日に実施。申込み、問合せは同協会03・3586・7361、http://www.jek.or.jp

CPDの会員の種類

入会方法は3種類 申し込まれる方がどれに該当するか確認して下さい。造園CPD協議会のホームページ：http://www.lacpd.jp/

【CPD会員-1】（年会費：無料）⇒各団体からご本人宛に案内が届きます下記団体の個人会員である場合

(社)日本造園学会・全国一級造園施工管理技士の会・(社)園芸文化協会・東京農業大学緑友会・(財)都市緑化技術開発機構・(社)日本公園緑地協会・(社)日本庭園協会

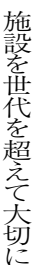
【CPD会員-2】（年会費：1,500円）⇒各団体から募集案内されます下記団体の会員企業に属している者、または()内の資格者である場合

(社)日本造園建設業協会（街路樹剪定士・植栽基盤診断士・登録造園基幹技能者）・(社)園芸文化協会・(社)自然環境共生技術協会・(社)道路緑化保全協会・(財)都市緑化基金・(財)都市緑化技術開発機構・(社)日本植木協会（優秀技能認定）・(社)日本公園施設業協会・(社)日本公園緑地協会・日本水景協会・(社)日本造園組合連合会（登録造園基幹技能者）・(社)日本造園修景協会（造園修景士）・(社)日本庭園協会・(財)日本緑化センター（樹木医・松保護士）・(社)ランドスケープコンサルタンツ協会（R.L.A.）・(財)公園緑地管理財団（PWF・PWE）・(財)海洋博覧会記念公園管理財団・(財)国際花と緑の博覧会記念協会

【CPD会員-3】（年会費：2,500円）⇒造園CPD協議会のホームページからお申込下さい上記いずれにも該当しない造園関連の技術者等

し、20年後にはこれが約6割に達すると推計されている。特に遊具に着目すると、約4割が設置から20年以上を経過し、それ以上に古いと思われる経過年数が「不明」のものと合わせると、約6割は設置から20年以上経過しているものと推測されている（図2、図3）。

(2)公園施設の老朽化に起因する事故と対策の状況



造園建設産業の「ゆくえ」

後編

前編で述べたことの要点は、次の通りである。

①我が造園建設業は、28種ある建設業のなかで工事施工高は少ないが、総合工事としての優れた施工技術を有していると認められている。その根底には、他の業種が持たない植物などの自然資材を主材料とする特質が存在する。

②この施工技術は、高度経済成長期にはじまる発注者の要求を達成するなかで形成された。そして今や、共に助け合う時代から施工者に仕事が任される時代になった。

③造園の出来栄は、最後の仕上げをする現場従事者の造園的美感性によるので、これの涵養を怠るな。

今回は、これからの造園建設業の新たな業務領域の開拓の方策を、紙面の都合上直ぐに取り掛かれるものと、手をかけて実現していかなければならない2つを提案する。1つは「枯れ補償制度の改善」で、いまひとつは主要な造園工事の発注を「設計

施工一括発注制度」に変えることである。

枯れ補償制度の改善

枯れ補償制度は、生き物である植物素材の活着を確保するために、古くから造園工事において施工者が自主的にやってきた固有の制度である。今のよう

新たな業務領域開発の戦略・戦術

取り込んで、契約の責務とされたのは明治時代のことである。施工者の自主的な施工のもとで植栽された結果を補償するのが、そもそもの仕組みの筋目であった。そこで改善では、まず植栽施工の仕様を標準仕様書のような詳細を示すやり方から、官庁営繕の仕様書のように施工者の判断に任せたいものにするのである。当然仕事のやり方が施工者の技術と判断に任されるので、活着の責任は施工者が負うことが明白になる。加えて、活着を確実に施工者の責任とするためには、活着補償期間の工事後一カ

設計施工一括発注の推進

発注者と受注施工者との施工能力は、今や受注者側が上回っている。事業量の縮小と自主施工の原則の遵守

自信と誇り

公共交通機関がやや完備されていないところに住んでいる私は、移動にはどうしても車をよく使います。

最近「伊豆」「富士山」等々目新しいナンバプレートをつけた車を時々見かけるようになりました。運輸支局等がないのに地域振興や観光振興のため導入されたいわゆる「ご当地ナンバ」だそうです。

それぞれが地域色をよく表し、インパクトを与えています。多くの人がその地域に愛着や誇りを持ってナンバプレートを着けているのだ



緑 滴

も近く、気候も温暖で、明治以降多くの政財界人や文化人も住んだように、私たちが地域の魅力や誇りとなるような公園や景観造りを生業としていることに、もともと自信と誇りを持ちたいものです。

最近平塚市が行った市民アンケートによると、平塚市に住み続けた

年の撫育管理を引き続き同一造園業者に任せる制度とすべきである。

この改善により造園工事の最たる特質である植栽工事を、施工者の自主施工の下に取り戻せることになるし、植栽工事の専門性が重視され、造園施工業の業務領域の確立につながる。

大事なことはこの改善を、造園施

工業から申出ることである。無論そのためには詳細を検討して新たな仕組みを示さなければならぬ。細かいことまで言えば、造園でしばしば生態学的には冒険に近いことをするが、例えば南の樹木を北に無理して植えることもある。このような場合の不成功時の納得のいく処理方法まで加える必要がある。

発注者と受注施工者との施工能力は、今や受注者側が上回っている。事業量の縮小と自主施工の原則の遵守

と思う。

私の住む平塚にも何年か前に車検事務所ができて「湘南」ナンバーが多くなっていました。また、平塚市に魅力や誇りを感じる点では「総合公園」が過半数を超えてトップとなっていました。

私も交通機関に多少の不便を感じても、緑豊かな湘南が大好きです。住んでいる街に愛着や誇りを持つということには幸せなことです。さらに、私たちは地域の魅力や誇りとなるような公園や景観造りを生業としていることに、もともと自信と誇りを持ちたいものです。

最近平塚市が行った市民アンケートによると、平塚市に住み続けた

と共にこの傾向は強まっていく。設計施工一括発注方式のガイドラインが示されていることもあり、造園工事施工者と造園コンサルタントが協働して、自らの案を示す好機である。待つていても発注者側からの提示は、あり得ない時代であることを、まずは認識すべきである。

造園建設生産システムは、発注、計画設計、工事施工、そして管理運営

と切れ切れになされる時代ではなく、一体として効率よく行い、安くて質の良いサービスを利用者に供給することが求められている。設計まで工

質への転換

事務局の動き

【主な動き】

100年に一度の経済危機からの脱却を図るために、内需拡大を、という国際的協調政策によって、21年度予算が成立する前から、21年度補正予算の動きが出てきました。これは、従来の補正予算と異なり、環境に貢献できる事業を中心とした日本版「グリーンニューディール」としての検討が進められています。

グリーンを銘打つからには、私たち造園建設業の出番と早速4月10日に会長を先頭に「公共事業予算の拡大を求める」要望活動を行いました。保利耕輔自由民主党政務調査会長、伊藤公介都市公園緑地等整備特別委員会委員長、谷垣禎一都市公園緑地等整備促進議員連盟会長等をはじめ、

は、私たち造園建設業の出番と早速4月10日に会長を先頭に「公共事業予算の拡大を求める」要望活動を行いました。保利耕輔自由民主党政務調査会長、伊藤公介都市公園緑地等整備特別委員会委員長、谷垣禎一都市公園緑地等整備促進議員連盟会長等をはじめ、

い。どこまでがコンサルの仕事か明白に示し真の協業案を、早く造園コンサルタントと成案を得なければならぬ。造園の特質を盛り込みこれを活かす方式は、受注者側から示すべきであり、これにより新たな業務領域の開拓へと繋がる。

造園施工者側の態勢に一言

事例として、2つの方策を提示したが、新たな業務領域を実現して行くためには、造園建設業側の態勢整備、

質への転換

創注を目指す農耕民族的発想へ、業態と業容を転換すべし。各社の業務争奪戦だけでなく各社の協同によって展開できるビジネスモデルの構築が急がれる

高度経済成長の大きな波の力に乗って仕事をして成果を挙げてきた現在の指導者は、これからの社会経済の波には乗り切れない。次代に任せ支援体制に廻るべし。

3. 施策の選択と訴求を誤るな

の訴求内容と方法を見直すべきである。

特例講習会（福岡）

17(金)・登録造園基幹技能者特例講習会（沖縄）

20(月)・全国都市計画主管課長会議（国土交通省）

21(火)・造園安全衛生管理の手引き改訂編集会議

22(水)・AIPH韓国博覧会会場視察

23(木)・環境省自然環境局要望

27(月)・近畿総支部意見交換会

30(木)・浜名湖デザイン博覧会審査委員会

7(木)・運営会議

11(月)・「広報日造協」編集会議

12(火)・国際委員会

13(水)・登録造園基幹技能者特例講習会（仙台）

22(金)・監事会計監査

20(水)・日本公園緑地全国大会

29(金)・財建設業技術者センター評議員会

14(木)・事業委員会（全国）

15(金)・総務委員会財務部会

19(火)・総支部長・支部長合同会議

26(火)・総務委員会（全国）

23(土)・日本造園学会全国大会

26(火)・都市緑化技術開発機構連合理事会

29(金)・財建設業技術者センター評議員会

14(木)・事業委員会（全国）

15(金)・総務委員会財務部会

11(月)・「広報日造協」編集会議

12(火)・国際委員会

13(水)・登録造園基幹技能者特例講習会（仙台）

22(金)・監事会計監査

20(水)・日本公園緑地全国大会

29(金)・財建設業技術者センター評議員会

14(木)・事業委員会（全国）

15(金)・総務委員会財務部会

23(土)・日本造園学会全国大会

26(火)・都市緑化技術開発機構連合理事会

29(金)・財建設業技術者センター評議員会

14(木)・事業委員会（全国）

15(金)・総務委員会財務部会

19(火)・総支部長・支部長合同会議

26(火)・総務委員会（全国）

23(土)・日本造園学会全国大会

樹木識別試験対策に最適・最強の図鑑、遂に登場

鑑定図鑑 日本[®]の樹木 枝・葉で見分ける540種 三上常夫・川原田邦彦・吉澤信行 著 (社)日本植木協会 編集協力 B5判並製 500頁 定価8,490円 会員価格7,370円(税込・送料込) ※申込等につきましては、会員様あての「日造協ニュース」(メール)でご案内頂いております。

柏書房 〒113-0021 東京都文京区本駒込 1-13-14 Tel.03-3947-8251 Fax.03-3947-8255

日造協賛助会員の紹介 09



ミラクルソル協会はこれまでワイン瓶などの廃棄ガラスをリサイクルした発泡ガラス材の開発を進めてきました。その用途は斜面や屋上の緑化、軽量盛土、水質浄化などの分野で「多目的環境材料」としてその有効性を見出しています。特に緑化用のミラクルソルを植生基材に混合すると、保水性が向上し、植物の初期生育が良好なことが実証されていきます。

最近の造園工事においては、(財)吉野ヶ里公園管理センターにて、庭園の保水材、ハンギングの保水材に利用いただいており、その効果が表れています。

当協会は、今後さらに循環型社会の確立に向けて邁進していきたいと考えております。

.....

03-5626-6881
E-mail: info@miracle-sol.jp